

教科名 (科目名)	専門教科（英語） 総合英語Ⅲ	履修学年	3 年	学科	フロンティア 科
		単位数（週当たりの授業時数）		4	単位

◆何ができるようになるか（教科・科目の目標）

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに〔知識〕、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている〔技能〕。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり〔思考力・判断力〕、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている〔表現力〕。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価方法	定期テスト 小テスト	定期テスト パフォーマンステスト	課題 パフォーマンステスト

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定（概ね次の表のとおりとする）

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100～70	AAA	5
		AAB	
B	69～40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39～0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか（教材等）

【教科書】 Grove English Communication III  
 【副教材】 問題集、単語帳、参考書等  
 【その他】 授業プリント

◆どのように学ぶか（授業方法、学習方法）

○英語を使用して授業を進めます。授業中のやり取りもコミュニケーションの大切な要素です。  
 ○教科書で扱われる事項を元に、身近な話題や日常的・社会的な話題について、自分で思考・判断・表現する機会を設け、その内容や取り組みを評価します。  
 ○発展的な学びとして、他国・地域との比較や意見交換を行い、自分の考えを多様な方法で発信する力を伸ばします。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	Lesson 1 Laughter Lesson 2 A Black and White Beauty Lesson 3 Water Lesson 4 Coffee Travels the World	単元テスト  ボキャブラリー コンテスト  定期考査	パフォーマンステスト  パフォーマンステスト	パフォーマンス テスト 課題  パフォーマンス テスト 課題
	5月				
	6月				
	7月				
2 学 期	8月	Lesson 5 From Homeless to Harvard Lesson 6 Smartphones Lesson 7 Personal Space  共通テスト対策課題や大学入試へ 向けての記述問題演習	ボキャブラリー コンテスト  定期考査  ボキャブラリー コンテスト  定期考査	パフォーマンステスト  パフォーマンステスト	パフォーマンス テスト 課題  パフォーマンス テスト 課題
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
3 学 期	1月	個別大学二次試験対策 和文英訳・英作文演習			
	2月				
	3月				